

北九州まちづくり応援団株式会社

I 法人の概要（平成 28 年 4 月 1 日現在）

- 1 所在地 北九州市小倉北区魚町二丁目 2 番 11 号
- 2 設立年月日 平成 17 年 6 月 27 日
- 3 代表者 代表取締役社長 原田 康
- 4 資本金 32,000 千円
- 5 北九州市の出資金 1,000 千円（出資の割合 3.1%）
- 6 役員員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役員	7 人	0 人	0 人	7 人
常 勤	1 人	0 人	0 人	1 人
非常勤	6 人	0 人	0 人	6 人
職員	31 人	0 人	0 人	31 人

II 平成 27 年度事業実績

小倉及び黒崎地区の中心市街地の賑わい創出のため、①指定管理事業、②共通駐車券事業、③賑わいイベント事務局事業、④市からの受託事業、⑤「サンリオ小倉ビル」管理事業、⑥「ニューながしまフード」事業を実施した。

指定管理事業（小倉城・小倉城庭園・水環境館）については、小倉城の入場者が大幅に伸長し、対前々期比 127%の年間 15 万 3 千人超が来場した。これにより、入場料収入ならびに売店売上も予算を大きく上回り、最終損益の改善につながった。

共通駐車券事業および賑わいイベント事務局事業については、おおむね予定どおりの活動ができ、小倉・黒崎地区の中心市街地の賑わいづくり、活性化に寄与することができた。

北九州市からの受託事業（小倉地区・黒崎地区）については、中心市街地活性化基本計画が終了し、前期に引き続き今期も北九州市からの委託料が大幅に減少したため、人員の削減や経費の圧縮に努めた結果、黒字を確保することができた。

「サンリオ小倉ビル」管理事業については、1 階テナントの「カルディー」の来店者が順調に推移していることから、安定的な賃料を得ることができている。2 階のテナント「ママトモ」については、商店街と連携したイベントなどを通じて託児施設「ママトモ」の認知 PR 活動を行ってきた結果、徐々に有料託児人数が増加してきている。また 3 階の多目的スペースでの子育て支援講座などの開催も引き続き推進し、講座期間中の「ママトモ」への有料託児人数の増加に寄与した。

なお、本ビルを賃借するにあたり、ビルの改修費用については、経済産業省からの補助金 1,600 万円と銀行からの借入金により調達しているが、銀行借入金については、予定通り返済を進めており、当期末の借入金残高は 714 万円となっている（返済完了は、平成 34 年 9 月末予定）。

「ニューながしまフード」事業については、来店者の減少に歯止めが掛からない厳しい事業環境が続く中、これ以上の事業継続は困難と判断し、平成 27 年 5 月末をもって閉店した。

これらの結果、当期の売上高は、2億8,726万円（対前期比98.4%）と前期より若干の減少とはなったが、売上原価（対前期比84.5%）ならびに販売費及び一般管理費（対前期比95.9%）の改善効果により、税引前当期純利益は期初目標を大きく上回る548万円となり、前期の1,174万円の損失から大きく改善した。

Ⅲ 平成27年度決算

1 貸借対照表

平成28年3月31日現在（単位：円）

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
【流動資産】	58,810,926	【流動負債】	29,028,669
現 金	1,841,839	未 払 費 用	20,677,458
預 金	45,000,235	未 払 法 人 税 等	428,700
商 品	3,067,399	預 り 金	2,121,471
貯 蔵 品	1,491,325	仮 受 金	19,640
未 収 入 金	7,410,128	未 払 消 費 税	2,781,400
【固定資産】	9,483,253	預 り 敷 金	3,000,000
(有形固定資産)	(6,413,253)	【固定負債】	7,136,000
建 物	4,012,301	長 期 借 入 金	7,136,000
建 物 附 属 設 備	2,400,952	負 債 合 計	36,164,669
(投資その他の資産)	(3,070,000)	(純資産の部)	
投 資 有 価 証 券	60,000	【株主資本】	32,129,510
出 資 金	10,000	資 本 金	32,000,000
敷 金	3,000,000	(利益剰余金)	(129,510)
		そ の 他 利 益 剰 余 金	129,510
		繰 越 利 益 剰 余 金	129,510
資 産 合 計	68,294,179	純 資 産 合 計	32,129,510
		負 債 ・ 純 資 産 合 計	68,294,179

2 損益計算書

自 平成 27 年 4 月 1 日
至 平成 28 年 3 月 31 日 (単位：円)

科 目	金 額	
【売上高】		
事業収入金	73,083,866	
店 売 上	6,213,866	
小倉城関連売上	207,958,792	287,256,524
【売上原価】		
期首棚卸高	5,372,412	
小倉城関連売上原価	12,748,324	
仕 入 高	45,754,784	
＊ ＊ 合 計 ＊ ＊	63,875,520	
期末棚卸高	▲ 3,067,399	60,808,121
売 上 総 利 益		226,448,403
【販売費及び一般管理費】		224,127,949
営 業 利 益		2,320,454
【営業外収益】		
受 取 利 息	8,703	
雑 収 入	926,185	934,888
【営業外費用】		
支払利息割引料	96,317	
雑 損 失	780,410	876,727
経 常 利 益		2,378,615
【特別利益】		
債 務 免 除 益		3,100,000
税 引 前 当 期 純 利 益		5,478,615
当 期 純 利 益		5,478,615

IV 平成 28 年度事業計画

平成 27 年度に実施した組織・事業の見直しに従って、採算事業である「指定管理事業」に予算・人員を集中的に配して利益の極大化に取り組むという視点から、①指定管理事業、②共通駐車券事業、③賑わいイベント事務局事業、④「サンリオ小倉ビル」管理事業の 4 つの事業に取り組み、北九州市の重要な観光資源である小倉城を中心に、行政や周辺の商店街などと連携して賑わいづくり、活性化に寄与していきたい。

指定管理者事業（小倉城・小倉城庭園・水環境館）については、好調な入場者増の流れを維持すべく、城内・城外での集客イベントを実施する。また、小倉城庭園についても、小倉城との連動イベントを実施し、入園者の増加ならびに小倉城庭園の認知向上を図る。

共通駐車券事業については、新規活用店舗や利用駐車場の拡充に努めるとともに、より効果的な事業 P R ツールについての研究を行う。

賑わいイベント事務局事業については、冬の小倉を彩る「小倉イルミネーション実行委員会」事務局を引き続き受託予定であり、独自事業であるイルミネーション初日の大乾杯大会も例年どおり開催を予定している。

「サンリオ小倉ビル」管理事業については、各テナントの営業活動に引き続き側面支援を行い、安定的な賃料確保に努める。また 3 階の多目的スペースについても、賃料の改定などにより利用率向上を図る。

これらの結果、平成 28 年度の売上高は 2 億 6,380 万円を見込んでおり、経常利益については、小倉城関連イベントの費用を引き続き増額計上したことにより、計 334 万円を計画している。

V 役員名簿

平成 28 年 7 月 1 日現在

役職名	氏名	備考
代表取締役会長	利島康司	北九州商工会議所会頭
代表取締役社長	原田康	北九州商工会議所副会頭
取締役	中村涉	北九州商工会議所参事
〃	甲山博美	小倉中央商業連合会顧問
〃	田島裕美	北九州市小倉北区長
〃	重永佳己	
監査役	前川義広	西鉄バス北九州(株)代表取締役社長